

熱中症から

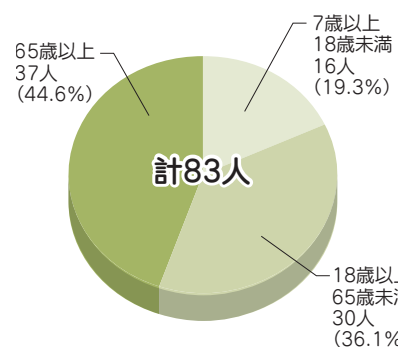
命を守ろう！

熱中症は予防が大切！

気温が上がり始めるこれからの季節は、体がまだ暑さに慣れていないため上手に汗をかくことができず、体温をうまく調節できないことから、熱中症の発生が多くなります。熱中症は、目まい、頭痛、吐き気、だるさなどの症状からひどいときには意識を失い、命が危険になることもありすが、正しい知識があれば予防することが可能です。

市内の熱中症発生状況

市内では、昨年6～9月の間に熱中症による救急搬送が83人となり、年齢別の搬送人数では、65歳



▲熱中症による年齢別救急搬送人数 (平成25年6～9月)

以上が37人と、全体の4割を超えました。(左記円グラフ参照)
高齢者は、加齢とともに暑さや喉の渇きを感じにくくなり、気が付かないうちに脱水状態に陥りやすくなるため、熱中症に特に注意が必要です。喉が渇いていなくても小まめに水分を取ったり、適度にエアコンを使用するなど、自分の体力を過信せずに、体調管理に気を付けましょう。

こんな日、こんな場所では熱中症に要注意！

熱中症は、気温や湿度が高く風が弱い日や、気温が急に高くなった日、日差しが強く、照り返しが強い場所所で起こりやすくなります。また、強い日射しの下で激しい運動や作業をする時だけでなく、高温多湿の室内で過ごしている時にも熱中症が多発しています。屋内であっても油断は禁物です。

次ページの『熱中症予防5つのポイント』や『熱中症予防講習会』(14ページ)、コラム『小まめな水分補給で熱中症予防』(32ページ)を活用していただき、一人ひとりが気を付け、また、周りの人の体調に気を配り、熱中症から大切な命を守りましょう。

小まめな水分補給で熱中症を予防しよう！(上柴西幼稚園)

特集 熱中症から命を守ろう！



熱中症予防 5つのポイント

1 上手にエアコンを使う

暑さで徐々に体力が低下し、室内でも熱中症になることがあります。室内の温度を測り、適切にエアコンを使いましょう。

特に高齢者のいる部屋の温度には気を付けてください。節電中でも、上手にエアコンを使っていきましょう。



2 暑くなる日は要注意

熱中症は、暑い環境に長時間さらされることにより発症します。猛暑の時は、エアコンの効いた室内など、涼しいところに避難しましょう。

特に、梅雨明けで急に暑くなる日は、体が暑さに慣れていないため要注意です。夏の猛暑日も注意が必要です。湿度が高いと、体からの汗の蒸発が妨げられ、体温の上昇が加速してしまいます。



3 水分・塩分を小まめに補給

喉が渇く前に水分を補給しましょう。汗には塩分が含まれています。汗をかいたら、水分とともに、塩分を含む飲料を飲みましょう。アルコールは、体内の水分を出してしまうため水分の補給にはならず、逆に危険です。

また、高齢者は汗をかきにくく、暑さや喉の渇きを感じにくい傾向がありますので、小まめに水分を補給しましょう。寝る前も忘れずに！



4 『おかしい!?』と思ったら病院へ

熱中症は、目まい、頭痛、吐き気、だるさなどの症状から、ひどいときには意識を失い、命が危険になることもあります。『おかしい』と思ったら、すぐに涼しいところに避難し、医療機関に相談しましょう。



5 周りの人にも気配りを

自分のことだけでなく、ご近所で声を掛け合うなど、周りの人の体調にも気を配りましょう。また集団活動の場では、仲間の体調に配慮しましょう。



現在市では小・中学校の特別教室や給食調理場、幼稚園へのエアコン設置工事を行っています。工事期間中はご迷惑をおかけしますが、ご協力をお願いいたします。

もしも熱中症のかたを見かけたら！

1 涼しい場所に避難させる



2 衣服を脱がせ、身体を冷やす



3 水分を補給する



4 自力で水が飲めない、意識がない場合は、直ちに救急車を要請しましょう



小さな子どもの熱中症にも気を付けましょう！

赤ちゃんや子どもは、体温調節機能が未発達なため熱中症になりやすく、普段から周りの大人が注意して見守ることが大切です。保健センターでは、子どもの熱中症対策をまとめたリーフレットを配布しています。ぜひご活用ください。

また、毎年全国で自動車内で子どもが熱中症になる事故が発生しています。短時間でも、車内に子どもを置いて車を離れることは大変危険です。絶対に車内に置き去りにしないでください。



▲保健師による乳幼児相談でもリーフレットを配布しています

深谷市の財政状況

平成25年度（平成26年3月31日現在）の市の財政状況をお知らせします

市では、まちづくりのために、市民の皆さんに納めていただいた税金や市債(市の借入金)などを財源とし、効率的な財政運営に努めています。どのような事業にどのくらいお金が使われたかという『市の家計簿』ともいべき財政状況を年2回に分けてお知らせしています。

今回は、平成25年度(平成26年3月31日現在)の財政状況をお知らせします。

特別会計

区分	予算額	収入済額	支出済額
国民健康保険	171億8,659万円	154億2,732万円	161億8,066万円
後期高齢者医療	22億3,688万円	21億4,036万円	20億8,537万円
農業集落排水事業	8億 742万円	7億9,573万円	7億5,334万円
国済寺土地区画整理事業	8億 707万円	3億3,850万円	6億2,080万円
岡中央土地区画整理事業	8,448万円	5,128万円	3,511万円
小前田駅北西部土地区画整理事業	5,576万円	5,127万円	5,127万円

市有財産

市が保有する公有財産のうち、土地は 3,202,433㎡、建物は 402,291㎡です。庁舎、学校、公園などの行政財産と、それ以外の普通財産とに分かれます。

公有財産	区分	土地		建物
		面積	延床面積	
土地および建物	行政財産	2,917,948㎡	380,885㎡	
	普通財産	284,485㎡	21,406㎡	
	計	3,202,433㎡	402,291㎡	
物権（地上権）				495㎡
	有価証券（テレビ埼玉ほか株券）			2,875万円
	出資による権利（埼玉県信用保証協会出せん金など12件）			76億1,606万円
	債権			1億5,811万円
基金（行政振興基金など21件）				171億5,415万円

平成25年度一般会計予算は、子育て環境の充実と生活基盤の整備に重点を置き、自校式給食場の建設や小・中学校特別教室へのエアコン設置、生活道路の整備拡充や寄居PAスマートインターチェンジの整備など、総額で518億4,019万円の事業費を計上しました。

また、本年2月に深谷市を襲った記録的な降雪は、市内全域に大きな爪痕を残し、道路の除雪費用や施設の修繕費など予期せぬ支出を迫られたことにより予算は大きく膨らみました。特に本市産業の要である農業の被害は甚大であり、ビニールハウスなど倒壊した農業用施設の再建には莫大な費用が見込まれています。

本格的な農業復興経費は平成26年度予算に計上しますが、今後一層厳しい財政運営を迫られることは必至です。全身全霊を傾け、必ずやこの難局を乗り越えてまいりたいと存じますので、市民の皆さまには、より一層のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

深谷市長 小島 進

企業会計

水道事業 (税込み)

区分		予算額		収入済額	
		収入	支出	収入	支出
収益的収支	収入	26億3,797万円		26億6,284万円	
	支出		23億3,023万円		22億 73万円
資本的収支	収入	33億8,463万円		29億7,984万円	
	支出		72億8,983万円		44億1,974万円

下水道事業 (税込み)

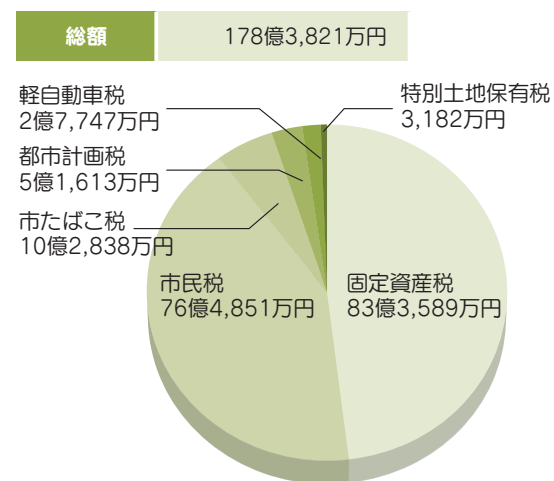
区分		予算額		収入済額	
		収入	支出	収入	支出
収益的収支	収入	16億7,852万円		16億8,942万円	
	支出		17億5,858万円		16億9,122万円
資本的収支	収入	13億9,714万円		12億4,866万円	
	支出		20億8,051万円		18億5,223万円

市債（借入金）

会計名	残高
一般会計	298億8,433万円
農業集落排水事業特別会計	52億9,719万円
国済寺土地区画整理事業特別会計	17億8,664万円
岡中央土地区画整理事業特別会計	1億 124万円
小前田駅北西部土地区画整理事業特別会計	1億8,250万円
水道事業会計	92億1,525万円
下水道事業会計	162億5,241万円
合計	627億1,955万円

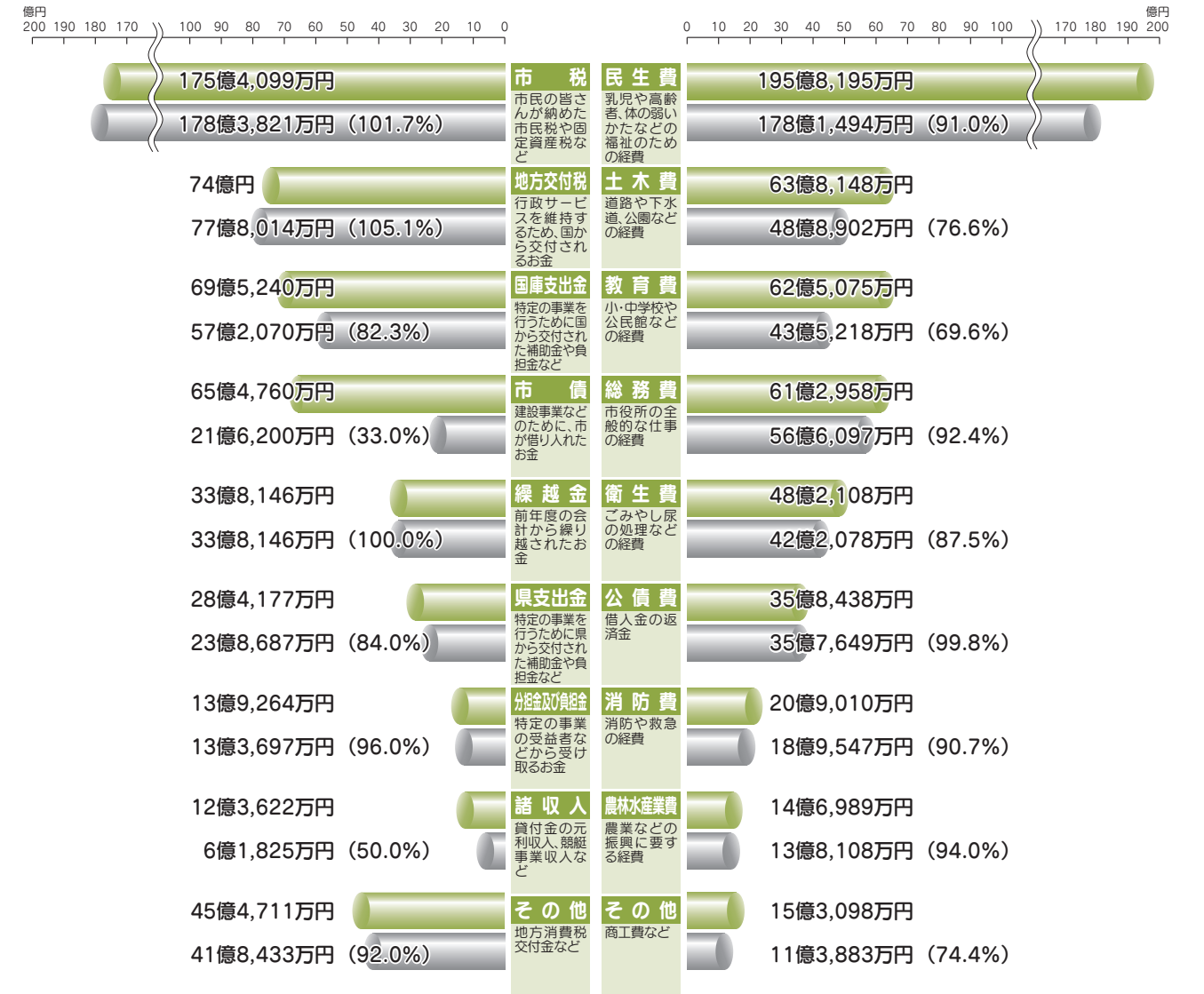
市民1人当たり換算すると **429,827円**
 1世帯当たり換算すると **1,107,474円**
 (人口：145,918人 世帯数：56,633世帯 [3月31日現在])

市税の内訳



※数値は表示金額未満を四捨五入しているため、合計額と一致しない場合があります。

歳入 ← 一般会計 → 歳出



歳入予算額・518億4,019万円
 収入済額・454億 893万円
 執行率・87.6%

〈表の見方〉



※数値は表示金額未満を四捨五入しているため、合計額と一致しない場合があります。
 ※予算額は、平成24年度の繰越分を含みます。

予算額に対して、収入済額と支出済額のそれぞれに差がありますが、これは出納整理期間の収入・支出が加算されていないためです。決算の数値は、出納整理期間終了後の数値になります。

(注)出納整理期間…年度内に終了した取り引きについて、4月1日～5月31日までに現金を収入・支出した場合は、年度内に収入・支出したものと出納を処理することができます。この期間を出納整理期間といいます。

歳出予算額・518億4,019万円
 支出済額・449億2,976万円
 執行率・86.7%

〈表の見方〉

